

新競技規則 2022 : IHF 公式ガイドライン トレーニングビデオ



訳) 公益財団法人 日本ハンドボール協会 審判本部

新競技規則関連 1

ゴールキーパーの頭部にシュートをぶつける

ゴールキーパー（以下、GK）の頭部に対して近距離からのシュートは、GKの健康を危険にさらす可能性があり、場合によっては、長期的な脳損傷につながることもございます。

GKを保護するために、特にシューターがチームメイトや対戦相手の影響を受けずに GK と 1 対 1 でシュートを打つという状況で、シューターが GK の頭部にボールをぶつけた場合、即座に 2 分間の退場（競技規則 8 : 8）を適用する必要があります。

本トレーニングビデオは 7 本のビデオから構成されており、様々なシーンにおける重要な観察の視点と判断基準が説明されています。これらの判断基準は、「シューターには GK の頭部にボールをぶつけてはならないという回避義務がある」という重要な原則に従って行われます。

注) 本映像は、GK の頭部直撃に関する基準を示すことを目的に作成されていますが、出演する GK の安全を保障するため、柔らかい素材のボールを用いて撮影しています。

GK の頭部にシュートをぶつける (8 : 8d)

Mats Olsson (マッツ・オルソン氏 / ノルウェー GK コーチ、IHF・CCM エキスパートグループのメンバー) による説明

ノルウェーとスウェーデンで、かつて世界屈指の GK として、また GK コーチとしても豊富な経験を持つマッツ・オルソン氏は、特に GK の健康を守ることを目的としたこのルール変更の必要性を映像内で説明しています。コメントの概要は以下の通りです。

「過去、特にシューターと GK の 1 対 1 の状況における GK の頭部に対する強打は、怪我や脳震盪につながる事が多くありました。一部の GK の中には、頭部に数回の負傷を負い、その後の選手生命を早期に断念せざるを得ませんでした。」

リンク先 : <https://youtu.be/rDYd9j44xFo>

Mats Olsson



Video 1

GKの頭部にボールが当たる(8:8d)

判断基準：ボールの最初の接触点が、頭部であること(シーン1から5)

ビデオは5つの異なるシーンで、実際に頭部にボールが当たったことを示しています。ここでは、以下の2つの判断基準が、特に重要となります。

- 頭部が、ボールの最初の接触点であること
- 頭部に当たった後、ボールの軌道が変わること

リンク先：<https://youtu.be/afrBK9erDYs>

Video 1



注) 本映像は、出演するGKの安全を保障するため、柔らかい素材のボールを用いて撮影しています。

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールは頭部のすぐ近くを通過している ・わずかに頭部に触れた可能性がある ・ボールの軌道は変わっていない 	頭部に当たっておらず、そのまま競技を続行	
https://youtu.be/afrBK9erDYs?t=22			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールが最初に接触したのは頭部 ・明らかに頭部に当たっている ・ボールの軌道が変わっている 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d) 	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/afrBK9erDYs?t=46			
3	ボールは頭部の(向かって)右側のおでこの辺りに当たっている	<ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d) 	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/afrBK9erDYs?t=75			
4	ボールは頭部の(向かって)左側のおでこに当たっている	<ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d) 	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/afrBK9erDYs?t=104			

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
5	ボールは頭部の（向かって）右側にあたっている	1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定（競技規則 8:8 d）	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/afrBK9erDYs?t=132			

Video 2

GKの頭部にボールがあたる（8：8d）

判断基準：ボールの最初の接触点が、頭部であること（シーン6から9）

ビデオはさらに4つのシーンで、実際に頭部にあたるとはどうかを示しています。シーン6と7でボールは、頭部近くの肩口にあたっています。シーン8と9では対照的に、頭部が最初の接触点となります。

Video 2



リンク先：<https://youtu.be/38r-9r2wzys>

注）本映像は、出演するGKの安全を保障するため、柔らかい素材のボールを用いて撮影しています。

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
6	ボールは頭部の近くの肩口にあたっている	頭部にあたっておらず、そのまま競技を続行	
https://youtu.be/38r-9r2wzys?t=22			
7	・ボールは頭部近くの肩口にあたっている ・顎にあたっているように見えるが、頭部が最初の接触ではない	頭部にあたっておらず、そのまま競技を続行	
https://youtu.be/38r-9r2wzys?t=47			
8	・ボールは最初に顎にあたっている ・顎も頭部に含まれる	1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定（競技規則 8:8 d）	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/38r-9r2wzys?t=71			

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールは口元にあっている ・口元も頭部に含まれる 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定（競技規則 8:8 d） 	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/38r-9r2wzys?t=101			

Video 3

GKの頭部にボールがあたる（8：8d）

判断基準：ボールの最初の接触点が、頭部であること（シーン 10 から 13）

ビデオは、さらに4つのシーンで、起こり得るGKの頭部にボールがあたっている状況を示しています。シーン10と11は、「ボールの軌道が変わる」という重要な判断基準を再び示しています。

Video 3



リンク先：<https://youtu.be/aftFfaysTgA>

注）本映像は、出演するGKの安全を保障するため、柔らかい素材のボールを用いて撮影しています。

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールが最初に接触したのは頭部 ・明らかにボールの軌道が変わっている 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定（競技規則 8:8 d） 	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/aftFfaysTgA?t=14			
11	頭頂部付近（髪の毛）にあたってはいるが、ボールの軌道は変わっていない	頭部にあたったとは見なされず、そのまま競技を続行	
https://youtu.be/aftFfaysTgA?t=44			
12	ボールは頭部に直撃している	<ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定（競技規則 8:8 d） 	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/aftFfaysTgA?t=69			

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
13	ボールはおでこ中央にあたっている	1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d)	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/aftFfaysTgA?t=97			

Video 4

GKの頭部にボールがあたる(8:8d)

判断基準：GKは、ボールの方向に頭部を動かしている

GKは、ゴールエリア内での防御動作において、頭部を含む身体の中の部分でもボールに触れることが許されています(競技規則 5:1)。

シーン1と3は、例えば強く打たれていないシュートや、スピンシュートなどのトリックシュートに対して、GKがボールの方向へと頭部を積極的に動かし、頭部でボールを止めているという判断基準を示しています。

ただしシーン2のように、GKが頭部に当たったかのようにみせかけ、シューターに罰則を誘発させようとした場合、レフェリーは競技規則 8:7d に従い、GKに対して罰則を適用しなければいけません。

リンク先：<https://youtu.be/YUIpnWaFJZY>

Video 4



注) 本映像は、出演するGKの安全を保障するため、柔らかい素材のボールを用いて撮影しています。

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
1	<ul style="list-style-type: none"> GKはシュートを止めるために、頭部をボールの方向へと動かしている ボールが頭部に当たった後、GKはレフェリーを欺くための言葉や振る舞いをしていない 強いシュートではないため、GKへの影響はない 	<ol style="list-style-type: none"> すぐさまタイムアウトをとる必要はない そのまま競技を続行 	
https://youtu.be/YUIpnWaFJZY?t=21			

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頭部は最初にボールがあたった場所ではない ・ ボールは肩口にあたっている ・ GKはレフェリーを欺くために、さもボールが頭部にあたったかのように見せかけている 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトをとる 2.GKに対し、段階的罰則を適用する (競技規則 8:7 d) 	攻撃側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/YUIpnWaFJZY?t=66			
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ GKはループシュートを止めるために、頭部をボールの方向へと動かしている ・ ボールが頭部にあたった後、GKはレフェリーを欺くための言葉や振る舞いをしていない ・ 強いシュートではないため、GKへの影響はない 	<ol style="list-style-type: none"> 1.すぐさまタイムアウトをとる必要はない 2.そのまま競技を続行 	
https://youtu.be/YUIpnWaFJZY?t=136			

Video 5

GKの頭部にボールがあたる(8:8d)

判断基準：GKと1対1の状況

- シューターとGKの間に、誰もいない
ウィングプレイヤー

チームメイトや対戦相手に邪魔されることなく打ったシュートが、GKの頭部にあたった場合、即座に2分間退場を判定します。シューターとGKの間に誰もいないことが条件です。ビデオでは、ウィングポジションからのシュートに関する6つの異なる状況を示しています。

コメント：映像ではGKの頭部にあたってはませんが、これは、「GKと1対1の状況」という基準を示すためだけのものです。

リンク先：https://youtu.be/Ach_COHebYk

Video 5



注) 本映像は、出演するGKの安全を保障するため、柔らかい素材のボールを用いて撮影しています。

シーン	観察の際の視点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・シューターと GK の間に、誰もプレイヤーはいない ・防御側プレイヤーによる違反はない ・誰にも邪魔されていない場面 <p style="text-align: center;">https://youtu.be/Ach_C0HebYk?t=12</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・防御側プレイヤーはゴールエリア内に侵入している ・防御側プレイヤーは攻撃側プレイヤーの方へと動き、接触している ・防御側プレイヤーの違反 ・シュートは違反行為により妨害された <p style="text-align: center;">https://youtu.be/Ach_C0HebYk?t=57</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・防御側プレイヤーは、攻撃側プレイヤーがジャンプするためのスペースを狭めるために、明らかにゴールエリア内に侵入し移動している ・そのため、防御側プレイヤーは攻撃側プレイヤーのシュートに影響を与えた ・防御側プレイヤーの違反 ・シュートは違反行為により妨害された <p style="text-align: center;">https://youtu.be/Ach_C0HebYk?t=99</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・防御側プレイヤーはジャンプした攻撃側プレイヤーの臀部をたたいている ・シュートは違反行為により妨害された <p style="text-align: center;">https://youtu.be/Ach_C0HebYk?t=173</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> ・防御側プレイヤーは明らかにゴールエリア内に侵入している ・防御側プレイヤーは攻撃側プレイヤーに接触している ・シュートは違反行為により妨害された <p style="text-align: center;">https://youtu.be/Ach_C0HebYk?t=210</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・防御側プレイヤーは攻撃側プレイヤーがシュート動作に入る際、ゴールエリア内を横ぎった ・攻撃側プレイヤーのシュートに対して、悪影響を与えている ・シュートは違反行為により妨害された <p style="text-align: center;">https://youtu.be/Ach_C0HebYk?t=251</p>

Video 6

GKの頭部にボールがあたる(8:8d)

試合の状況(シーン1から6)

GKの頭部へボールがあたることに対して、公式試合における6つの場面を例に、罰則を適用すべきかどうかの判断基準を説明しています。また、中断の後に試合がどのように再開されるかについても説明しています。

Video 6



リンク先 : <https://youtu.be/DeehjiQjcHM>

注) 本映像は、出演するGKの安全を保障するため、柔らかい素材のボールを用いて撮影しています。

シーン	観察の際の視点	判定	注意/競技の再開方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・シューターとGKの間には、防御側プレイヤーと攻撃側プレイヤーの双方がいる ・防御側プレイヤーの一人が、シューターに対し横から接触している ・GKと1対1の状況ではない 	タイムアウトのあと、攻撃側チームのフリースローから競技を再開する	【注】 攻撃側プレイヤー(白2番)がボールをパスした後、戦術的にゴールエリアに侵入したとレフェリーが判断したならば、防御側チームのゴールキーパーを判定することもできる。
	https://youtu.be/DeehjiQjcHM?t=12		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・GKと1対1の状況である ・明らかにGKの頭部にボールをぶつけている ・ボールの軌道も明らかに変わっている 	1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d)	防御側チームのフリースローから再開 【注】 レフェリーはその前に、シューターに対してオーバーステップを判定すべきである。
	https://youtu.be/DeehjiQjcHM?t=79		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・右ウィングプレイヤーとGKの1対1の状況である ・明らかにGKの頭部にボールをぶつけている ・ボールの軌道も明らかに変わっている 	1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d)	防御側チームのフリースローから再開
	https://youtu.be/DeehjiQjcHM?t=127		

シーン	観察の際の視点	判定	注意／競技の再開方法
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ピボットプレイヤーと GK の 1対1 の状況である ・明らかに GK の頭部にボールをぶつけている ・ボールの軌道も明らかに変わっている 	<ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d) 	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/DeehjiQjcHM?t=179			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な防御システムに対して、離れた位置からシュートは放たれている ・シューターと GK の間には、防御側プレイヤーと攻撃側プレイヤーの双方がいる ・GK と 1対1 の状況ではない 	GK から跳ね返ってきたボールを保持した青チームのフリースローで、競技を再開 (レフェリーが競技を中断した際、すでに青チームがボールを保持していた)	【注】 GK はプレーの続行が不可能な状況であり、レフェリーはタイムアウトを取る必要がある(競技規則運用に関するガイドライン 6:8)
https://youtu.be/DeehjiQjcHM?t=233			
6	<ul style="list-style-type: none"> ・GK と 1対1 の状況である ・GK はゴールポスト近くに先に位置を取り、防御動作をとった ・ボールは頭部に直撃している ・シューターは、例えば反対側のゴールポストなど、他のコースにシュートを打つことができたはずである ・ボールの軌道も変わっている 	【重要】 GK と 1対1 の状況下では、シューターには GK の頭部にボールをぶつけてはならないという回避義務がある。 <ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d) 	防御側チームのフリースローから再開
https://youtu.be/DeehjiQjcHM?t=302			

Video 7

GKの頭部にボールが当たる(8:8d)

試合の状況(シーン7から12)

さらに6つの場面で、判断基準をもう一度説明しています。

特にピボットプレーヤーがゴールを狙う際には、最初に防御側プレーヤーとの身体接触を伴っていることがあります。ピボットプレーヤーがボールと身体を完全にコントロールしながら、誰にも妨げられることなくGKと1対1の状況でシュートを打つことができるのであれば、シューターにはGKの頭部にボールをぶつけてはならないという回避義務があります。

Video 7



リンク先 : <https://youtu.be/NgNbFZRmxIY>

注) 本映像は、出演するGKの安全を保障するため、柔らかい素材のボールを用いて撮影しています。

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
7	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃側プレーヤーはジャンプする前に防御側プレーヤーからわずかな接触を受けているが、シュートに影響はない ・シューターはボールと身体を十分にコントロールしている ・GKはシュートを止めるためにジャンプしている ・明らかにGKの頭部にボールをぶつけている ・ボールの軌道も明らかに変わっている 	<p>【重要】</p> <p>GKと1対1の状況下では、シューターにはGKの頭部にボールをぶつけてはならないという回避義務がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d) 	<p>防御側チームのフリースローから再開</p>
https://youtu.be/NgNbFZRmxIY?t=12			
8	<ul style="list-style-type: none"> ・GKはゴールから離れたところでシュートを止めるためにジャンプしている ・明らかにGKの頭部にボールをぶつけている ・ボールの軌道も明らかに変わっている 	<p>【重要】</p> <p>GKと1対1の状況下では、シューターにはGKの頭部にボールをぶつけてはならないという回避義務がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定(競技規則 8:8 d) 	<p>防御側チームのフリースローから再開</p>
https://youtu.be/NgNbFZRmxIY?t=94			

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
9	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃側バックプレイヤーはカットイン後、GKと1対1の状況となった ・GKは積極的にシュートを止めるためにジャンプしている ・明らかにGKの頭部にボールをぶつけている ・ボールの軌道も明らかに変わっている 	<p>【重要】</p> <p>GKと1対1の状況下では、シューターにはGKの頭部にボールをぶつけてはならないという回避義務がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定（競技規則 8:8 d） 	<p>防御側チームのフリースローから再開</p> <p>【注】</p> <p>レフェリーはその前に、シューターに対してオーバーステップを判定すべきである。</p>
https://youtu.be/NgNbFZRmxIY?t=170			
10	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃側ピボットプレイヤーは、防御側プレイヤーがゴールエリア内にいる状況でシュートを打った ・シューターとGKの間に防御側プレイヤーがいる 	<ol style="list-style-type: none"> 1.7mスローで競技を再開する 2.攻撃側あるいは防御側プレイヤーに対して、罰則は不要（GKと1対1の状況ではない、単なる防御側プレイヤーのゴールエリアへの侵入） 	
https://youtu.be/NgNbFZRmxIY?t=237			
11	<ul style="list-style-type: none"> ・攻撃側バックプレイヤーはカットイン後、GKと1対1の状況となった ・ボールが最初にあたったのは頭部ではない ・ボールはGKの胸部にあたっている 	<ol style="list-style-type: none"> 1.タイムアウトをとらなければ： 競技を続行させる 2.タイムアウトをとったならば： 攻撃側チーム（最後にボールを所持していたチーム）のフリースローから競技を再開する 	
https://youtu.be/NgNbFZRmxIY?t=302			

シーン	観察の際の視点	判定	競技の再開方法
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 攻撃側バックプレイヤーはカットイン後、GKと1対1の状況となった ・ GKはシュートを止めるためにジャンプしている ・ 明らかにGKの頭部にボールをぶつけている ・ ボールの軌道も明らかに変わっている 	<p>【重要】</p> <p>GKと1対1の状況下では、シューターにはGKの頭部にボールをぶつけてはならないという回避義務がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.レフェリーはタイムアウトを取る 2.シューターに対し即座に2分間の退場を判定（競技規則 8:8 d） 	<p>防御側チームのフリースローから再開</p>
https://youtu.be/NgNbFZRmxlY?t=358			

2022年7月23日

公益財団法人 日本ハンドボール協会
競技・審判本部